

まず、はじめに	1
1 動物用医薬品等に関する「医薬品医療機器等法」(Q&A)	5
1. 医薬品医療機器等法の目的と用語の定義	5
2. 動物用医薬品(動物用体外診断用医薬品を除く)、動物用医薬部外品の製造販売業及び製造業	12
3. 動物用医療機器及び動物用体外診断用医薬品の製造販売業及び製造業	22
4. 動物用再生医療等製品の製造販売業及び製造業	32
5. 動物用医薬品、動物用医療機器及び動物用再生医療等の販売業	37
6. 医薬品等の基準及び検定	44
7. 医薬品の取扱い	45
8. 医薬品等の広告等	63
9. 食品の安全性確保	64
10. 副作用等の報告	66
11. 罰則	66
2 倫理	70
1. 動物用医薬品等の流通秩序に関する行動規範	70
2. 動物用医薬品等の流通秩序に関する行動規範の運用基準	72
3. 動物用医薬品の流通における品質保全に関する実践規範	77
4. 動物用医薬品の販売に関する営業倫理	78
3 動物用医薬品・医療機器関連法規(Q&A)	82
1. 関連法規等	82
2. 飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律(飼料安全法)	83
3. 愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律(ペットフード安全法)	88
4. 食品衛生法	89
5. 獣医師法	92
6. 獣医療法	94
7. 家畜伝染病予防法(家伝法)	95
8. 家畜保健衛生所法	101
9. 農業保険法	101
10. 持続的養殖生産確保法	105
11. 麻薬及び向精神薬取締法	108
12. ポジティブリスト制度	113
13. 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(独占禁止法)	115
14. 不当景品類及び不当表示防止法(景品表示法)	117
15. 製造物責任法(PL法)	118
4 動物の身体構造と機能	121
1. 生殖	121
2. 消化と吸収	122
3. 呼吸	122
4. 血液	123
5. 循環	124
6. 尿の生成と排出	124
7. 骨と骨格	125
8. 筋肉	125
9. 神経	126
10. ホルモン	126

5 畜産	127
1. 家畜の種類	127
2. 家畜の生理的特徴と飼養管理（ライフサイクル）	130
3. 飼養管理（環境・飼料）	137
4. 生産システム	141
5. アニマルウエルフェア（家畜福祉）	143
6 養殖魚の疾病とその診断・予防・治療	146
1. はじめに	146
2. 魚病診断	146
3. 主な疾病とその予防・治療方法	153
4. 最後に	159
7 小動物（小動物の主要疾病とその対策）	161
1. 感染症	161
2. 循環器疾患	170
3. 消化器疾患	173
4. 泌尿器疾患	175
5. 内分泌疾患	177
6. 皮膚疾患	178
7. 食事療法食	182
8 家畜衛生概論	184
1. 家畜伝染病予防法	184
2. 衛生対策システム	185
3. 抗菌性物質	187
4. ワクチンの基礎知識	200
5. 畜種別主要疾病とその対策	215
(1) 牛疾病	215
(2) 豚疾病	231
(3) 鶏疫病	248
9 その他の基礎知識	265
1. 序論	265
2. 畜水産の現況	266
(1) 家畜の飼養状況	266
(2) 水産養殖の概況	271
3. 取引上の留意点	286
4. 公益社団法人日本動物用医薬品協会の組織と活動	292
10 用語集	301

《備考》テキストの中で「医薬品医療機器等法」と記しているのは、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の略です。